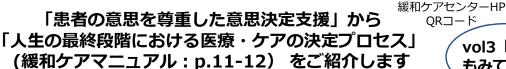


緩和ケア通

2024年11月20日 緩和ケアセンター発行 Vol.12



QRコード

vol3 [ACP] もみてね!

向上のためには、医療・

ケアの方針決定において、

そのひと自身の意思・意

向を尊重し、人生におけ

沿った生活が叶うよう支

援することが重要である。 そのため、患者の生活や

人生について、医療・ケ

アスタッフは十分な情報

を得ておく必要がある。

る優先事項や価値観に

・人牛の最終段階における医療・ケアの方針決定

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 における意思決定支援や方針決定の流れ(イメージ図) (平成30年版)

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、 介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。

心身の状態に応じて意思は変化しうるため 繰り返し話し合うこと



主なポイント

本人の人生 観や価値観 できる 限り把握

十分に話し

話し合った

内容を都度

文書にまと

め共有

本人の意思が 確認できる

本人と医療・ケアチームとの合意 形成に向けた十分な話し合いを踏 まえた、**本人の意思決定が基本**

人生の最終段階における 医療・ケアの方針決定



心身の状態等により医療 ア内容の決定が困難な場合

> 家族等※の中で意見が まとまらないなどの場合等

複数の専門家で構成する 話し合いの場を設置し、方針の検討や助言

本人や 家族等_※と

·家族等※が本人の 意思を推定できる

本人の意思が 確認できない

家族等※が本人の 意思を推定できない 家族がいない

本人にとって最善の方針を 医療・ケアチームで慎重に判断

※本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、話し合いに先立ち 特定の家族等を自らの意思を推定する者として前もって定めておくことが重要である。 ※家族等には広い範囲の人(親しい友人等)を含み、複数人存在することも考えられる。

◆患者が医療やケアを選択できるように支援するには



自分事として認識するのは難しい。 何を考えたらいいかわからない。 考えることがつらい。 残された力で決められることは? どんな支援があれば決めることができるのかな?

選択や決定を迫られるのはどれもキツイ内容だよ。



「その人」を知る、ともに考える

- 治療可否やどこで過ごすか等に注目しがちだが「なぜか」の理由が大事!
- 信頼関係の構築なしに「その人」の 価値観を知ることは難しい
- 普段の関わりの中で、患者本人が自身の希望に気づくこともある





説明したらわかる・決めることができるわけではないんだね!



第34回 三重大学緩和ケアセミナー 開催します

日時:2025年1月24日(金) 18:30~19:30【ハイブリット形式】

内容:療養生活を支えるお金の処方箋

~診療現場で役立つ公的保険と民間保険のポイント~

講師:川崎由華先生(一般社団法人がんライフアドバイザー協会)

申込・詳細は





認識 病気の特徴、

治療の内容

治

(病気自体は理解していても自分自分のこととして認識しているか 病気でないと主張するなど

い点を論理的に比較できるいくつかの選択肢の良い点が

自分の選択を表明できる 葉や、 以外の 手段

論理的思考

Grisso T, Appelbaum PS,1998.

選択の表明